

## 研究主題

こどもを中心としたカリキュラム・マネジメント  
～自由進度学習の可能性を探る～

## マイプラン・タイム（1教科2単元）

### 第2学年 国語科学習指導案

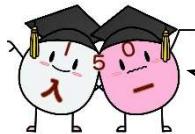
学習期間：令和7年11月10日（月）～11月26日（水）

対象：2年生82人

場所：2年生教室・オープンスペース

授業者：佐々木雅仁 久保坂勇人 市川千明

杉山幸子



本校では単元内自由進度学習を  
『マイプラン・タイム』と呼んで  
いるよ。

1 単元名 **国語科** 「おもちゃの作り方をせつめいしよう」（こくご二下 光村図書）（8時間）

「秋がいっぱい」（こくご二下 光村図書）（2時間）

「冬がいっぱい」（こくご二下 光村図書）（2時間）

2 単元の目標

#### 国語科

「おもちゃの作り方をせつめいしよう」

おもちゃの作り方を説明する活動を通して、語と語や文と文との続き方に注意して、内容のまとめ方が分かるように文章を書き表したり、文章の中の重要な語や文を考えて選び出したりすることで相手意識をもって主体的に文章を書こうとする態度を養う。

「秋がいっぱい」「冬がいっぱい」

季節に関連した言葉に触れることで、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気付き、また体験的な学習活動を通して身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うことで語彙を豊かにすることができる。

3 単元の評価規準

	ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
「おもちゃの作り方をせつめいしよう」	身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。	語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとめ方が分かるように書き表し方を工夫して表現している。	おもちゃの作り方の説明文を書く活動を通して、文章を推敲したり学習を振り返ったりして、最後まで課題をやり抜こうとしている。
「冬がいっぱい」	言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付き、話や文章の中で使っている。	経験したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にして表現している。	言葉には事物の内容を表す働きがあることに気付き、学習の計画を立てたり振り返ったりしながら、最後まで課題をやり抜こうとしている。

## 4 指導観

### (1) 単元観

**国語科** 本単元で扱う内容は、小学校学習指導要領（平成29年告示）において、以下のように位置付けられている。

#### 「おもちゃの作り方をせつめいしよう」

国語〔第1学年及び第2学年〕 2 内容

##### 〔知識及び技能〕

- (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。  
オ 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。
- (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。  
ア 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。

##### 〔思考力、判断力、表現力等〕

B 書くこと

- (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。  
ウ 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。

本単元では、「紙コップ花火の作り方」を読み、それを生かしておもちゃのつくり方について説明する文章を書く構成になっている。教材文では、「まず」、「つぎに」「それから」「さいごに」といった順序が分かる言葉を使って説明している。また、読み手にとって分かりやすい説明の言葉が随所に設けられている。それら筆者の工夫を生かして、おもちゃの作り方を書けるようにする。自分が書いた作品を友達に読んでもらうことで、作った工夫のよさを実感することができる。また、おもちゃ作りという題材は、児童が意欲的に書いたり読み合ったりすることができ、生活科の学習と関連させながら進めていくことで、児童が最後まで意欲をもって活動できるようにする。

#### 「秋がいっぱい」「冬がいっぱい」

国語〔第1学年及び第2学年〕 2 内容

##### 〔知識及び技能〕

- (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。  
ア 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。  
オ 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。

##### 〔思考力、判断力、表現力等〕

B 書くこと

- (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。  
ア 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。

本単元では、秋や冬の自然や生活の様子に目を向け、自分の感じたことや発見したことを言葉で表す力を養うことをねらいとする。児童は、言葉集めをしたり、俳句や短い詩などを音読したりしながら、季節の情景や心情を想像する。さらに、身の回りの自然や出来事に関心をもち、自分なりの言葉や表現でまとめる活動を通して、表現することの楽しさや言葉の豊かさを実感する。本単元の学習を通して、試行錯誤を繰り返しながら日常生活の中の四季を表す語句を増やし、伝えたいことを自分の言葉で最後まで伝えようとする態度を育むことを目指す。

## (2) 児童観

「単元内自由進度学習（マイプラン・タイム）は好きですか。」という質問に対して8割の児童が肯定的な回答をした。

否定的な回答をした理由を問うと「計画を立てることが難しいから」「自分で考えることが多いから」「一人で学習を進めることができないから」という回答があった。また、「自分で学習の計画を立てることは好きですか。」という質問に対しては、9割の児童が「好き」と回答した。このことから、学習計画を立てることが好きな児童の中にも、難しさを感じている児童がいることが分かった。また、学習の進め方に難しさを感じていることについては、一学期のマイプラン・タイムの実践で動線が分かりづらくなっていたということが関係していると考えられる。具体的には、学習シートや掲示が点在していて、次にどこへ行けばよいのかわからなくなってしまう児童がいた。また、学習の見通しを十分にもたせる単元の導入になつていなかつたことも課題として挙がった。

また、「書くこと」についての質問では、7割の児童が「書くことが好き」という回答をしている。「書くことが好きではない」と回答した児童が挙げた理由は「伝えたいことが思い浮かばない」「自分の書いた文章に自信がない」「文章の組み立て方が分からない」といったもののが多かった。

そこで、低学年が目指す「自分のやりたいことを選び、最後までやりきることのできる児童」が達成できるよう、本研究では次の2点を重視したい。1点目は、「学習の見通しをもてる学習環境構成」である。学習計画を立てることに苦手さを感じている児童が見通しをもって計画を立てやすくしたり、一人で学びを進めることに不安を感じている児童が安心して活動できるようにしたりする。2点目は、「書きたくなる学習環境づくり」である。書き方の構成や順序を表す言葉を練習するパズルやしきけを用意し、自然と書き方を身に付けることができるようとする。また、書く単元と同時に季節の言葉の学習を行うことで、季節の植物を使ったおもちゃの制作意欲につながったり、気分を変えて季節の言葉集めを楽しんだりすることができ、児童が最後までやりきる力を育て、達成感を味わわせたい。また、生活科「おもちゃづくり」の単元計画と学習の時期を合わせて行うことで、一人一人が自分のおもちゃを説明することができ、書くことに対する意欲が持続できるようにする。

## 5 本単元の学習の関連と発展

### 国語

「おもちゃの作り方をせつめいしよう」

1年

「じどう車くらべ」

- ・説明の順序に気を付けて読む。
- 「じどう車ずかんを つくろう」
- ・説明の順序に気を付けて書く。

2年

「たんぽぽのちえ」

- ・順序や理由に気を付けて読む。

「みの回りのものを読もう」

- ・身の回りにある言葉や絵の使い方を工夫した情報を見付ける。

「どうぶつ園のじゅうい」

- ・時間の順序に気を付けて読み、自分の考えをもつ。

「紙コップ花火の作り方」

- ・順序を捉えたり、文章と写真を対応させたりして読み、大事な言葉や文を見付ける。

「おもちゃの作り方をせつめいしよう」

- ・順序が分かるように、説明する文章を書く。

3年

「すがたをかえる大豆」

- ・話題と、事例の書かれ方を捉えて読む。

「食べ物のひみつを教えます」

- ・適切な事例を挙げ、構成や順序、絵や写真の示し方を工夫する。

4年

「未来につなぐ工芸品」

- ・まとまりごとに中心となる語や文を確かめ、分量を考えて要約する。

「工芸品のみりょくを伝えよう」

- ・理由や事例を挙げて考えを伝える。

5年

「固有種が教えてくれること」

- ・文章以外の資料を用いた効果を考えながら読む。

「自然環境を守るために」

- ・グラフや表を用いて、考えを伝える文章を書く。

6年

「『鳥獣戯画』を読む」

- ・筆者の考えと資料や言葉の使い方の工夫を捉える。

「発見、日本文化のみりょく」

- ・目的や意図に応じて、そのもののよさを効果的に伝える文章を書く。

「秋がいっぱい」「冬がいっぱい」

2年

「春（夏/秋/冬）がいっぱい」

- ・動植物を中心に、季節を感じるものを作り出す。

3年

「春（夏/秋/冬）のくらし」

- ・生活の中で季節を感じるものについて、文章を書く。

4年

「春（夏/秋/冬）の楽しみ」

- ・季節を感じる行事について、様々な形態の文章で知らせる。

5年

「春の空/夏の夜/秋の夕/冬の朝」

- ・気象に関する言葉を知り、季節の風景を文章で表す。

6年

「春のいぶき/夏のさかり/秋の深まり/冬のおとずれ」

- ・二十四節気を知り、自分たちの住む地域の季節を言葉で伝える。

## 6 目指す児童像に迫るための手立て

### 低学年分科会 目指す児童像

自分のやりたいことを選び、最後までやりきることのできる児童

#### (1) 環境・教材の工夫

##### ア 自自分で学習計画を立てるための工夫

見通しをもてる学習環境構成することで、児童が一人で学習計画を立て、自分の学びの現在地を視覚的に捉えられるようにする。

##### イ 一人一人の児童が安心して学習を進めるための工夫

書き方の例文を示す掲示や順序を表す接続語を練習するパズルを用いて、視覚的に理解したり手を動かしたりする学習環境づくりをすることで、書き方に不安を感じる児童が安心して取り組むことができるようになる。また、文章量を一律とせずに選択肢を作り、自己選択できるようにすることで、どの児童も安心して活動に取り組むことができると考えた。

##### ウ 季節を感じる具体物の展示

季節の言葉の学習について、実物や写真を多く用意することで、児童が様々な感覚を働かせながら季節の言葉を味わったり日常生活と関連させながら学習したりすることにつながると考えた。

#### (2) 意欲的に最後まで活動するための学習過程の工夫

生活科「おもちゃづくり」の学習と時期を合わせて学習することで、自分のおもちゃを題材として書くことができ、児童の書くことに対する意欲が高まると考えた。また、友達に紹介するというゴール設定も、児童が最後までやりきるために有効であると考えた。

第2学年 単元の指導計画と評価計画（国語）

時	1	2～8	9																																													
形態	一斉	個別	一斉																																													
目標	学習の進め方を知り、見通しをもつ。 学習問題を知り、学習の見通しをもって計画を立てている。	おもちゃの作り方を説明する活動を通して、語と語や文と文との続き方に注意して、内容のまとまりが分かるように文章を書き表したり、文章の中の重要な語や文を考えて選び出したりすることで相手意識をもって主体的に文章を書くことができる。また、季節に関連した言葉に触れることで、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気付き、また体験的な学習環境を通して身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うことで語彙を豊かにすることができます。																																														
学習の流れ	<p>1 「文づくり名人コース」「きせつのことば名人コース」で学習する内容を知り、学習の見通しをもつ。</p> <p>2 学習の進め方を知る。</p> <p>3 場や教材の使い方を理解する。</p> <p>4 自分の学習計画を立てる。</p> <p>1 挨拶 2 自分の計画を確認する。 3 マイプラン・タイム</p> <p>学しゅうマップ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ミッション</th> <th>やること</th> <th>ぱしょ</th> <th>おわったら○</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>みん なで</td> <td>文づくり名人、 きせつのことば名人になろう</td> <td>学習のながれを知る。</td> <td>教しつ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">どちらから とりくんでも OKです！</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">文づくり名人コース</th> </tr> <tr> <th></th> <th>ミッション</th> <th>やること</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文①</td> <td>じゅんじょをあらわすこ おり紙 とばを知ろう！</td> <td>作り方を見ながら、おり紙でハリセンと かえるを作ろう。</td> </tr> <tr> <td>文②</td> <td>絵をならべかえて、せつ ならべ かえ めいしよう！</td> <td>ならべかえた絵について、じゅんじょを あらわすことばをつかって、せつめいし よう。</td> </tr> <tr> <td>文③</td> <td>おもちゃのせつめい文を 書いてみよう</td> <td>❶ざいりょうとどうぐを書こう。 ❷作り方を書こう。（じゅんじょを表す ことばをつかおう） ❸楽しみ方を書こう。 ※❶❷❸はどこから書いてOK！</td> </tr> <tr> <td>文④</td> <td>ともだちと 読み合おう</td> <td>❶❷❸の文しょうが書けたら、 3人のともだちに読んでもらって、サイ ンをもらおう。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>チェックポイント</td> <td>ともだちに読んでもらったら、先生にチ ェックしてもらおう。</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">きせつのことば名人コース</th> </tr> <tr> <th></th> <th>ミッション</th> <th>やること</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>き①</td> <td>秋冬のことばを見つけよう</td> <td>あきのことばをあつめる</td> </tr> <tr> <td>き②</td> <td>秋と冬のことばをつかって、か るたを作ろう</td> <td>あきのことばであるたをつくろう</td> </tr> <tr> <td>き③</td> <td>かるたあそびをしよう</td> <td>かるたであそぶ</td> </tr> </tbody> </table> <p>【パワーアップミッションにチャレンジしよう！】 ※文づくりコース・きせつのことばコースのすべてのミッションがおわった人が チャレンジできます。</p> <p>○新しいおもちゃづくりにちょうどいい！ ○めざせ！文の組み立てマスター！</p>		ミッション	やること	ぱしょ	おわったら○	みん なで	文づくり名人、 きせつのことば名人になろう	学習のながれを知る。	教しつ		文づくり名人コース				ミッション	やること	文①	じゅんじょをあらわすこ おり紙 とばを知ろう！	作り方を見ながら、おり紙でハリセンと かえるを作ろう。	文②	絵をならべかえて、せつ ならべ かえ めいしよう！	ならべかえた絵について、じゅんじょを あらわすことばをつかって、せつめいし よう。	文③	おもちゃのせつめい文を 書いてみよう	❶ざいりょうとどうぐを書こう。 ❷作り方を書こう。（じゅんじょを表す ことばをつかおう） ❸楽しみ方を書こう。 ※❶❷❸はどこから書いてOK！	文④	ともだちと 読み合おう	❶❷❸の文しょうが書けたら、 3人のともだちに読んでもらって、サイ ンをもらおう。		チェックポイント	ともだちに読んでもらったら、先生にチ ェックしてもらおう。	きせつのことば名人コース				ミッション	やること	き①	秋冬のことばを見つけよう	あきのことばをあつめる	き②	秋と冬のことばをつかって、か るたを作ろう	あきのことばであるたをつくろう	き③	かるたあそびをしよう	かるたであそぶ	<p>1 マイプラン・タイムで学んだことを発表し合い、感想を伝える。</p> <p>2 単元全体の学習を振り返り、マイプラン・シートに記入する。</p>
	ミッション	やること	ぱしょ	おわったら○																																												
みん なで	文づくり名人、 きせつのことば名人になろう	学習のながれを知る。	教しつ																																													
文づくり名人コース																																																
	ミッション	やること																																														
文①	じゅんじょをあらわすこ おり紙 とばを知ろう！	作り方を見ながら、おり紙でハリセンと かえるを作ろう。																																														
文②	絵をならべかえて、せつ ならべ かえ めいしよう！	ならべかえた絵について、じゅんじょを あらわすことばをつかって、せつめいし よう。																																														
文③	おもちゃのせつめい文を 書いてみよう	❶ざいりょうとどうぐを書こう。 ❷作り方を書こう。（じゅんじょを表す ことばをつかおう） ❸楽しみ方を書こう。 ※❶❷❸はどこから書いてOK！																																														
文④	ともだちと 読み合おう	❶❷❸の文しょうが書けたら、 3人のともだちに読んでもらって、サイ ンをもらおう。																																														
	チェックポイント	ともだちに読んでもらったら、先生にチ ェックしてもらおう。																																														
きせつのことば名人コース																																																
	ミッション	やること																																														
き①	秋冬のことばを見つけよう	あきのことばをあつめる																																														
き②	秋と冬のことばをつかって、か るたを作ろう	あきのことばであるたをつくろう																																														
き③	かるたあそびをしよう	かるたであそぶ																																														
評価規準 評価の方法	ア	身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。 言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付き、話や文章の中で使っている。（学習シート）																																														
イ	語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫して表現している。 経験したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にして表現している。（学習シート）																																															
ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習マップとともに学習計画を立て、学習問題を解決する見通しをもてている。（マイプラン・シート）</li> <li>おもちゃ作りや様々な季節の言葉に関心をもち、学習計画を立てる。（マイプラン・シート）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>おもちゃの作り方の説明文を書く活動を通して、文章を読み直したり、読み手に伝わりやすい文章を書こうとしたりしながら最後まで課題をやり抜こうとしている。</li> <li>季節の言葉に触れる学習を通して、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気付き、最後まで課題をやり抜こうとしている。（観察）</li> </ul>	説明書を書いた経験や季節の言葉に触れる学習を、今後の学習や生活に生かすことや、既習の学習と関連させて学んだことを振り返ろうとしている。（マイプラン・シート、観察）																																														